

第 22 期 pES club step4 大会薬学生シナリオ

2023 年 6 月 11 日

昭和大学藤が丘病院 薬剤部

鈴木 絢子

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは 250 床の名羅手部総合病院に勤務する 2 年目の薬剤師です。音霧玲内さん（72 歳女性）は、パーキンソン病の症状悪化に伴う薬物コントロールの目的で入院しました。

5 年前に手の震えを自覚しパーキンソン病と診断されて外来で内服薬の調整を行っていました。病気の進行とともにドパミン製剤を増量したところジスキネジアが出現したため、症状をコントロールするために今回は初めて入院で内服薬を調整することになりました。

今日は入院 7 日目で服薬説明のために患者の病室を訪れました。前は初回面談で入院時にお会いして、今回は 2 回目の面談です。

あなた「音霧さん、こんにちは。薬剤師の〇〇（あなたの名前）です。」

あなた「パーキンソン病のお薬を変更していますが、手足の震えはいかがですか？」

音霧さん「お薬少し変えたらだいぶよくなったのよ。でも先生は様子見たいそうよ。それより、何より入院したら夜全然眠れなくなってしまって。睡眠薬っていの？あれってどうなのかしら？今まで飲んだことないし、ちょっとね。」

病棟の配置薬にはエスゾピクロン 1mg 錠があり、指示簿の不眠時指示は同薬剤 1 回 1 錠です。患者の訴えである不眠に対して、エスゾピクロンの服薬指導をしてください（10 分間）。